

トホクのニラ栽培方法

発芽適温：20℃前後 生育適温：20～25℃
 土壌酸度：pH6.0～6.5 連作障害；1～2年あける

1. 作物特性

ニラは一度植えると一年に数回収穫できます。また 7～8 月にトウ立ちして花が咲き、冬に地上部は枯れますが根株が休眠して春にまた新葉が出てくる多年草で、数年間収穫することができます。2～3 年は収穫できますが、株が弱ってくるのでその時は再びまき直しが必要です。暑さ、寒さに強く、プランターでも栽培できます。

2. タネまき

植えつける畑とは別に育苗床を準備してタネをまきます。1㎡当たり堆肥 2.5kg、苦土石灰 100g、化成肥料 80g を施しよく耕してうねを立てます。



深さ 1cm 程度のまき溝をつけます。支柱などを使ってまき溝をつけると便利です。まき溝は深くなり過ぎないように注意します。



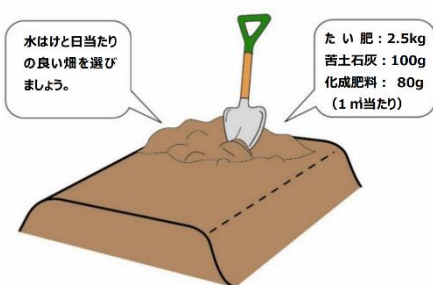
発芽までは乾きすぎることの無いように、また過湿にならないよう管理しましょう。他の葉菜類と比べて生育が大変ゆっくりですから、



雑草に負けないように注意して除草します。タネをまいてから 80 日位の苗を植えつけに用います。

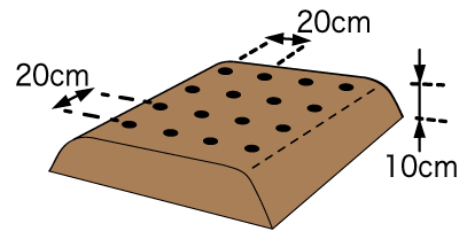
3. 畑の準備

ニラは一度植えると数年間は同じところで収穫できます。畑の利用を考えて慎重に畑を選びましょう。



4. 植えつけ

ニラは長く栽培しますのでマルチを張ると雑草防止などに効果があります。最近では植穴のあいたマルチが販売されているので利用すると便利です。



株間 20cm 間隔で植えつけます。1カ所に苗を3本まとめて植えつけます。

5. 栽培管理

植え付けてから 1 カ月後に追肥します。その後は収穫ごとに 1㎡当たり 30g の化成肥料を追肥します。



7～8月にかけて花芽が伸びてきます。そのままにしておくと花が咲き、タネを着けるため株が弱ります。なるべく早く花芽は摘むようにします。

6. 収穫

ニラの葉が 30cm 位になったら株元から数 cm 残してハサミで切って収穫します。切株からはその後新しい葉が伸びてきます。一年に 3～4 回は収穫できます。2～3 年は収穫できますが、徐々に株が細ってきます。その後はまき直しが必要です。



栽培例

● まく時期												■ 収穫期																							
春						秋						冬						春																	
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
(翌年)						(翌々年)						(翌年)						(翌々年)																	
(翌年)						(翌々年)						(翌年)						(翌々年)																	
(翌年)						(翌々年)						(翌年)						(翌々年)																	
(翌年)						(翌々年)						(翌年)						(翌々年)																	